

ため池ハザードマップ

Funabashitaike Hazard Map

船原下池

【保存版】

ため池決壊の想定条件

地震や大雨によって、満水状態の船原下池が決壊し、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

浸水の深さによって避難方法は異なります

- 浸水しない場所（空き地、道路など）
- 自宅の2階、危険のない近くの高い建物
- 自宅にとどまる

いざというときの連絡先（TEL）

さぬき市	代表	087-894-1111
警察	事件・事故の通報	110 局番なし
消防	火事・救助・急救	119 局番なし
災害用伝言ダイヤル	災害時の安否確認	171 局番なし

安全安心コミュニティ（登録無料）

登録しておくだけで、さぬき市における緊急災害情報などが携帯電話のメールに配信されるサービスです。



ため池決壊について知ろう

想定される災害を事前に知り、一人ひとりが災害について、「わがこと」として考えることが、減災への第一歩となります。

ため池決壊の原因（地震と大雨）



さぬき市では、東南海・南海地震（今後 30 年以内に発生するおそれ）が同時発生した場合に、震度 5 強～6 強の揺れが予測されています。

また、地震列島である日本では、どこにおいても直下型地震が発生する可能性があります。

※ さぬき市地図ハザードマップ（平成 22 年 9 月作成）



近年、短時間に激しく降る大雨（ゲリラ豪雨）が日本各地で増加しています。台風や梅雨時期に雨が降り続くと、ため池の水位が上昇し、ため池決壊のおそれがあります。

ため池決壊の起こり方と、その被害

① 南海地震や直下型地震、大雨で堤防が破損する。



② 破損した堤防が、貯水に耐え切れず「決壊」



③ ため池決壊による被害

- ・大量的水や土砂が漏流となって、周辺に押し寄せます。
- ・山崩れ、内陸部における津波とも呼ばれています。
- ・建物や車は押し流されます。
- ・道路や住宅地、田畠は土砂に埋まります。

※満水時に全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

災害事例

地震

福島県 須賀川市

東北地方太平洋沖地震（平成 23 年 3 月 11 日）による震度 6 強の揺れで、藤沼地区が決壊し、死者・行方不明者 8 名を出す被害となりました。

- ・長時間の強い揺れによって、地震後に決壊。
- ・田植え前で満水状態であった貯水が全て流出した。
- ・下流の集落に漏流となって押し寄せた。

避難情報に注意しよう

避難の際に大切なことは、正しい情報を入手し、あわてず冷静に行動することです。危険を感じたら、避難勧告や避難指示が出る前でも自主的に避難しましょう。

避難情報を入手するときの注意事項

地震のあと

被災状況（防災行政無線の故障、広報車の通行不可、停電など）により、通常の手段を通じた情報の入手が困難になります。

そのことを前提と考え、憶測やデマに惑わされず、冷静に対応しましょう。

大雨時は家屋内にいる場合が多く、防災行政無線や広報車の呼びかけが雨の音で聞こえにくいう場合があります。

テレビやラジオ、インターネットなどから自主的な情報収集を心がけましょう。

インターネットによる情報収集源

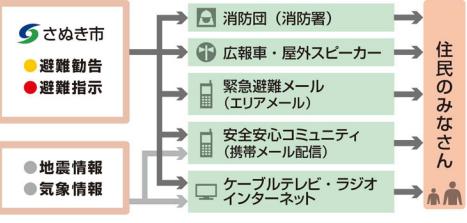
高松地方気象台
天気予報、警報、注意報、地震情報など
(PC) <http://www.jma-net.go.jp/takamatsu/>

香川県防災・国民保護情報
県内の防災気象情報、災害被害情報など
(PC) <http://www.pref.kagawa.jp/kdis/>

さぬき市
緊急情報、各種ハザードマップなど
(PC) <http://www.city.sanuki.kagawa.jp/>

避難情報の伝達経路と内容

避難情報は、下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。



あらかじめ非常持ち出し品を準備しましょう



ため池決壊と同時に発生するおそれがある災害

地震



※対象ため池周辺では、津波のおそれはありません。

大雨



※対象ため池周辺では、津波のおそれはありません。

ため池決壊と同時に発生するおそれがある災害



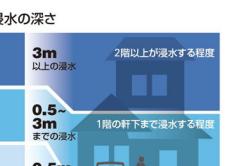
※対象ため池周辺では、津波のおそれはありません。

船原下池 浸水深マップ

地震のあと

このマップは、船原下池が決壊した場合にどのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

ここで、ため池決壊による浸水の深さを示しています。災害の状況によつては、表示されている範囲以外においても被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。



避難経路の安全性

特に危険な区域（ため池堤防）

ひざ上(0.5m以上)が浸水

通行は危険

ひざ下(0.5m未満)が浸水

通行には注意が必要

ため池決壊と同時に発生するおそれがある災害

土石流危険箇所

※対象ため池周辺では、津波のおそれはありません。

凡例

避難所(建物)

避難所(敷地)

警察

災害時要援護者施設

防災行政無線(屋外スピーカー)

臨時ヘリポート

1:8,000

0 100 200 300 m

N W E S

128.9

132.7

134.1

134.5

134.9

135.3

135.7

136.1

136.5

136.9

137.3

137.7

138.1

138.5

138.9

139.3

139.7

140.1

140.5

140.9

141.3

141.7

142.1

142.5

142.9

143.3

143.7

144.1

144.5

144.9

145.3

145.7

146.1

146.5

146.9

147.3

147.7

148.1

148.5

148.9

149.3

149.7

150.1

150.5

150.9

151.3

151.7

152.1

152.5

152.9

153.3

153.7

154.1

154.5

154.9

155.3

155.7

156.1

156.5

156.9

157.3

みなばらしあい
船原下池
浸水深マップ

大雨
のとき

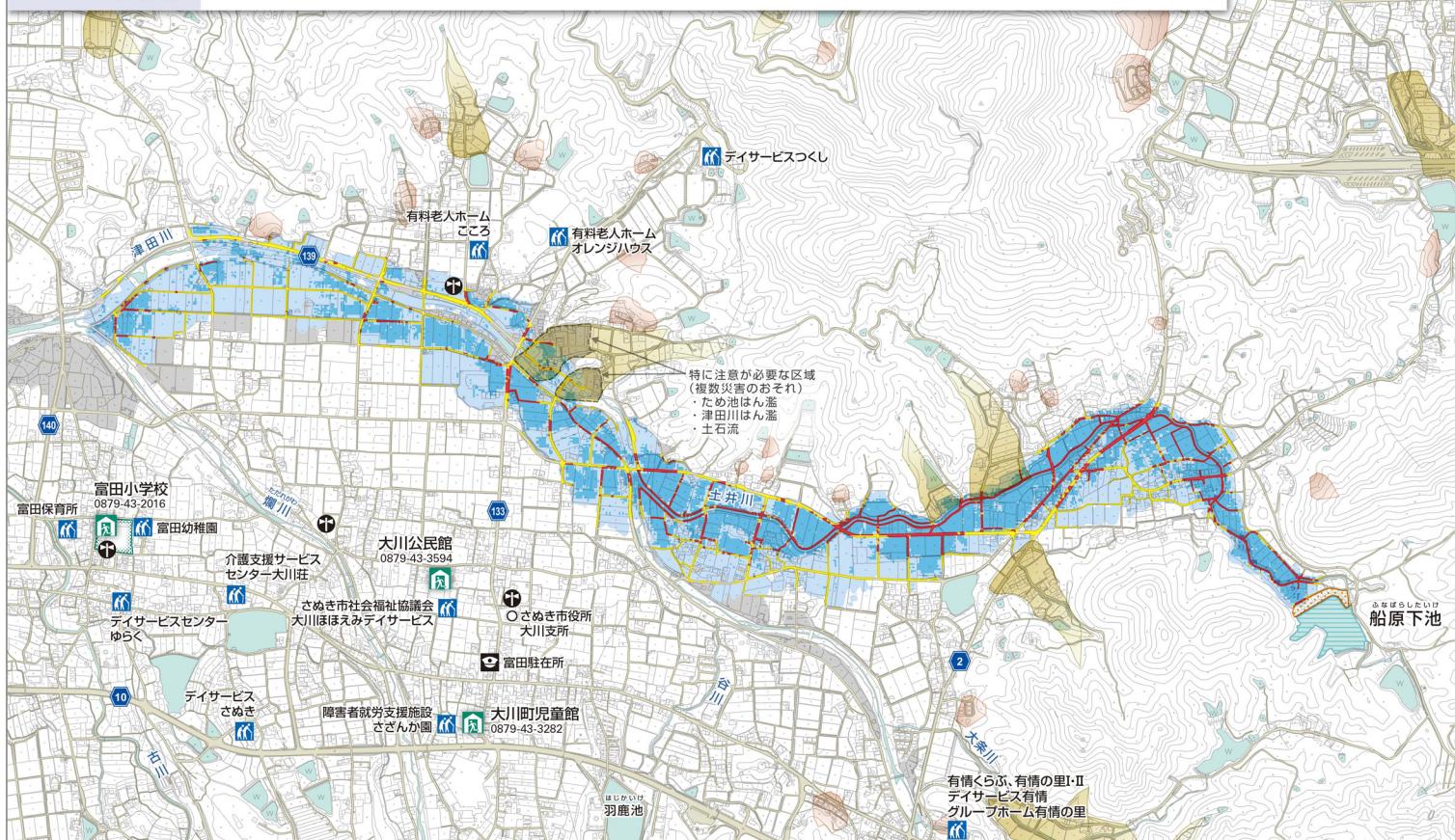
大雨のときは、気象情報などを参考に、早めの避難を行うことが大切です。
雨が降り続くと、ため池決壟のほかにも、水はけの悪い水路や小河川、下水道などがあふれる内水はん濫、津田川はん濫、土砂災害などの様々な災害が同時に発生するおそれがあります。



避難経路の安全性
特に危険な区域(ため池堤防)
ひざ上(0.5m以上)が浸水、通行は危険
ひざ下(0.5m未満)が浸水、通行には注意が必要
ため池決壟と同時に発生するおそれがある災害
津田川の決壟による浸水想定区域
土石流危険箇所
急傾斜地危険箇所
※内水はん濫による浸水想定区域は記載していません。

凡例
避難所(建物)
避難所(敷地)
警察
災害時要援護者施設
防災行政無線(屋外スピーカー)

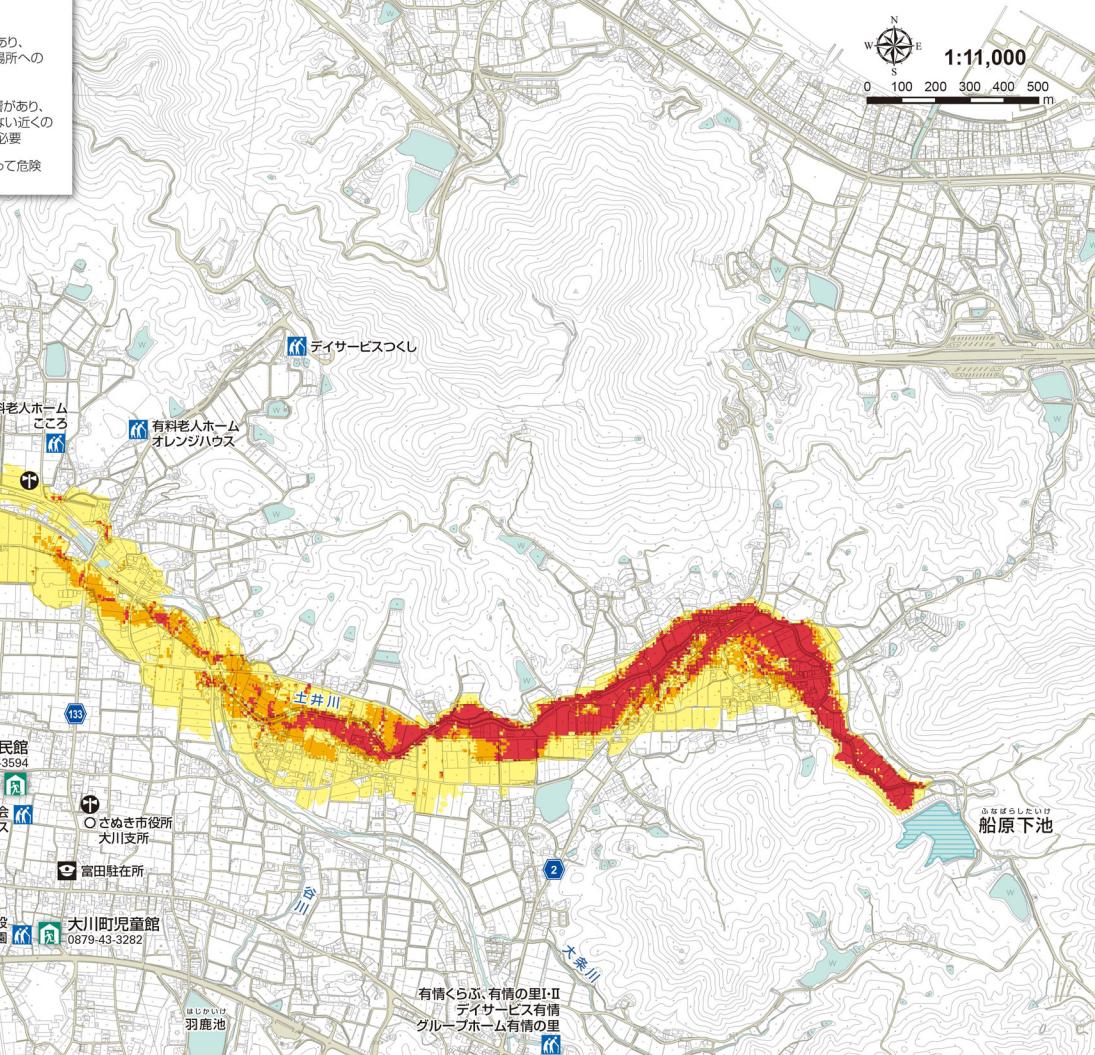
1:11,000
0 100 200 300 400 500 m



避難危険度マップ

ため池決壟による「浸水の深さ」と「流れる速さ」の関係から、避難の危険度を表現しています。流れの速さが加わると避難の危険は高まるため、注意が必要です。

凡例
建物倒壊のおそれがあり、決壟前に浸水しない場所への避難が必要
決壟した水による影響があり、自宅の2階や危険のない近くの高い建物への避難が必要
むやみな移動はかえって危険



ゆれやすさ
マップ

震度分布

ゆれやすさマップは、東南海・南海地震が同時発生した場合に想定される震度分布を表現しています。
地震のゆれは、震源からの距離と地形の違いによって変化し、一般に川の近くでは地盤がやわらかく、周囲と比べて一段大きな震度でされることもあります。さぬき市では、震度5強から6強が予想されています。

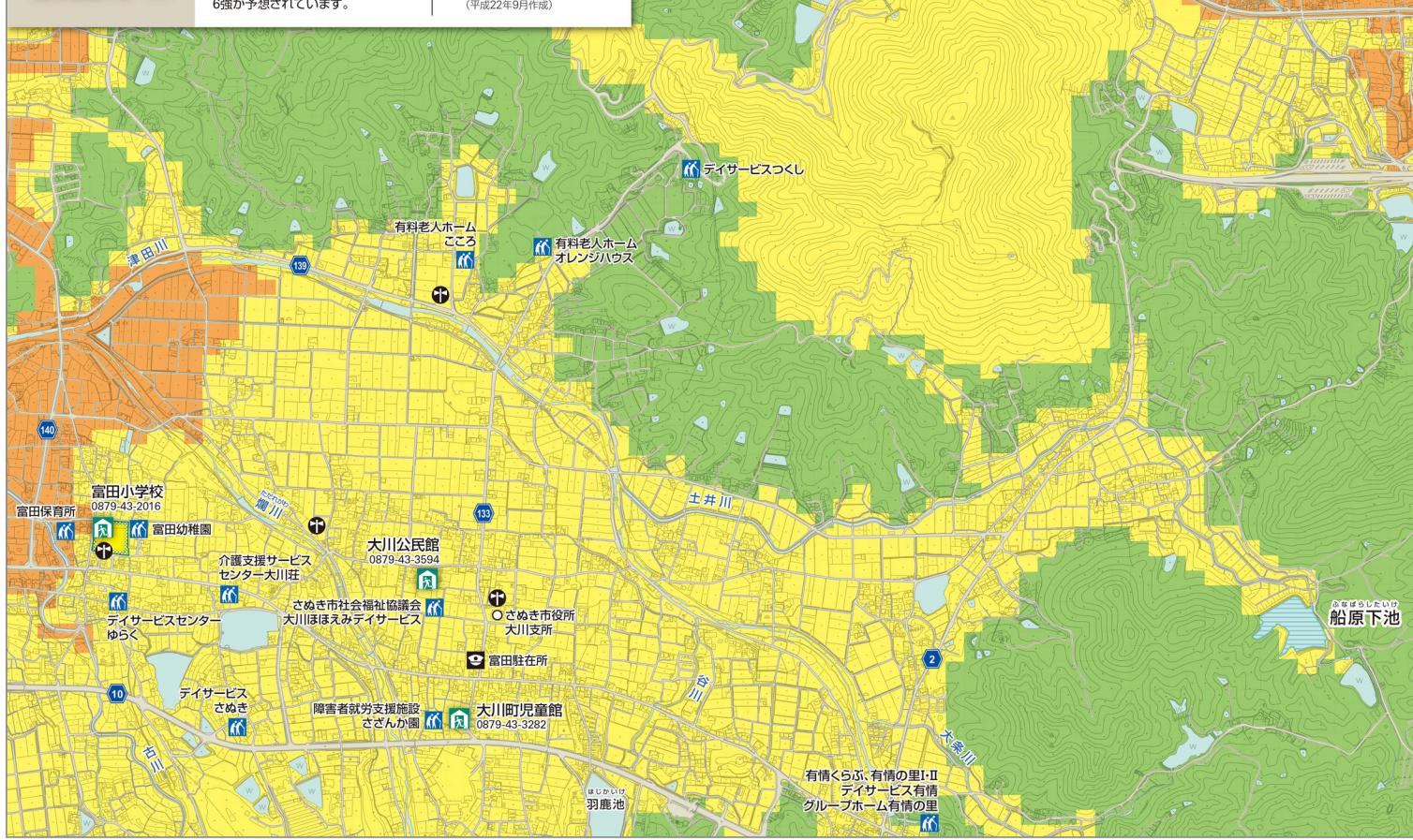
震度(東南海・南海地震)
震度 6 強
震度 6 弱
震度 5 強
※東南海・南海地震は、今後30年以内に0.6%程度の確率で発生すると予測されています。
出典：さぬき市地震ハザードマップ（平成22年9月作成）



震度分布
震度 6 強
震度 6 弱
震度 5 強

震度(東南海・南海地震)
震度 6 強
震度 6 弱
震度 5 強
※東南海・南海地震は、今後30年以内に0.6%程度の確率で発生すると予測されています。
出典：さぬき市地震ハザードマップ（平成22年9月作成）

1:11,000
0 100 200 300 400 500 m



到達時間マップ

ため池が決壟した場合に、洪水がどのくらいの時間で到達するかを示すものです。ため池が決壟すると、大量の水や土砂が濁流となって、瞬時に押し寄せます。

凡例
決壟後 5 分
決壟後 10 分
決壟後 15 分
決壟後 30 分
決壟後 60 分
決壟後 60 分以上

